

# 読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いいたします。手紙かハガキがファクスで送って下さい。



職員を集中して津波高潮に即応できるよう建設されたが3年後の廃止・売却が計画されている大阪市港湾局公舎(築港2)

## 津波防災体制強めよ 港湾局公舎売却の撤回要求

築港の会

などで現場到着が遅れたり到着出来なかつたりしたメンバーの代替要員も編成されておらず、緊急出動班への衛星携帯電話配備もされてない。

②幹部の入居はゼロ

同公舎は港湾局防災体制を確保するための職務公舎として市議会の承認を得て平成八年に建設されたが、過去十数年間、幹部職員が一人も居住していない。そのため、夜間に緊急事態が発生した時には初期出動体制を指揮する幹部は他所からになりす。

①最悪想定訓練は無し  
防波閉鎖訓練(公舎居住職員二十三人と他所居住職員八十九人で編成)の合同訓練は年四回ほど行なわれているが、①夜間②豪雨③雷雨④地震による液状化⑤防波閉鎖の損壊など最悪の事態を想定した訓練は全く行われていない。また携帯電話の不通や体調不良



「港湾局公舎売却計画の撤回」を求めて大阪市港湾局職員と協議する「津波高潮対策築港の会」の会員。5月11日、住之江区

鎖状況をリアルタイムで把握できないこととなる。撤回まで活動続ける協議を終えた同会の山田博之事務局長は「東日本大震災を受け、国も自治体も津波防災体制の見直しを始めています。その中の公舎売却計画は、市区民の不安を募らせこそすれ、安心させるものでは決してないことが、今回の協議で一層明らかになりました。撤回させるまで運動を続けたい」と話していました。

同公舎は平成十八年から築港地区で「浸水対策市民フォーラム」を開催するなど、大阪市及び港区の津波・高潮対策を継続的に検証している区民グループ。この問題では、①同計画の撤回と住民説明会を求める要望書を同局に提出(二月九日)②同公舎や港湾防災体制についての情報開示を同局に請求(四月二十一日)などの行動を重ねてきました(本紙既報)。その間に東日本大震災が発生し、平松市長や橋下知事が現行の津波対策の見直しを相次ぎ表明。今回の協議はそれを踏まえたものとなりました。

### 催しガイド

(市岡一四一四一五階 六五七六一八一)へ。市岡小学校生涯学習ルーム「紙芝居」講座。世界最小・日本独特・自分独自の演劇世界を創るための連続講座。毎月四月(十九日)・五月(十三日)・六月(六日)・七月(一日)・八月(二十五日)・九月(十九日)・十月(十三日)・十一月(七日)・十二月(一日)の各回、二十時に同校生涯学習ルームで。講師は工藤麻さん(大阪市立中央図書館・港図書館で紙芝居指導)。受講費は無料。四月二十五日(来年三月二十六日)次回は六月二十七日、途中参加歓迎)。〇八〇一三一一七七八六池田ふみ子。自閉症児を応援する気工化協力の成果を観察し、村人との交流し、失われた緑を取り戻す試みを体験。費用十六万円他。定員約三十五名(先着順)。GENは黄土地加費無料。要予約。毎月第二・第四土曜十五・十八時

「津波高潮対策築港の会」の記者(前号3面)で知り組みの記事(前号3面)で知りました。地域の結びつきが薄らぐ中、粘り強くまとって運動することにはエネルギーがいりますが、これが本来の責任の取り方です。マスコミは原発の危険性を取り上げてもそれを引き起こした本当の犯人にこそ期待しています。この記事を港区住民のスクラムの強さを頼もしく思いました。よい方向へ進むことを期待しています。

### 子や孫に自分の人生を残そう!

400字(原稿用紙1枚)で千円が標準料金です。

30代で胃を患い、生死の境をさまよってから人生の意味を考え直し、以後は妻と共にボランティア活動に時間を割くようになりました。ゼニカネが全ての世の中でこんな生き方もあるよと子や孫に伝えたく、これまでの歩みを冊子にしてみました。(弁天・70代夫婦)

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。

田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636

創意と工夫をこらした区民の支援誇らしく  
(波除3・40代女性)  
東日本大震災被災地への支援活動が港区でも続いているという記事(前号1面)を読んで、子供も大人も創意と工夫を凝らし、街頭や催して様々な支援を行なっていることが分かり、区民として誇らしく思えました。「明日は我が身」「苦しい時はお互い様」今こそ日本の底力を!は今の日本人に共通の思いだと思います。被災地の苦しみはまだまだ続いているので、引き続き区民の支援活動を紹介して下さい。そのことがまた支援になると思います。

危険な原発押し付けた米と日本政府の犯罪性  
(市岡・60歳男性)  
「港地域メーデー」の記事(前号2面)の中で「人類の未来に原発はいらない!」の叫びに共感を覚えました。原発はたとえ地震や津波には耐えられたとしても、テロに狙い撃ちされたら周辺は廃墟です。原爆と同じ危険極まりない物を核技術とウランを売りつけるため、地震列島に五十数基も林立させたアメリカ、それに従った日本の歴代政府の犯罪性は明らかです。欠陥商品を生り付けた製造元(ゼネラルエレクトリック社)に賠償責任を問えない原子力基本法には、そんな

住民スクラム感じた田中1東町会の活動  
(池島・45歳女性)  
たえブロック塀で囲まれている、空き地が長年放置されている、環境や治安の面で生活に多大な支障が出るのだということある通り、剣道は本場に礼節を尊ぶ清々しい武道で

礼節尊び清々しい剣道の記事に感心  
(此花区・女性)  
会社が港区で、いつも読ませて頂いています。今月は、孫二人が剣道を習っている関係で、「港区民剣道大会」の記事(前号4面)に読み入りました。そこにある通り、剣道は本場に礼節を尊ぶ清々しい武道で

長寿社会に問いかけ「橋山節考」に唸る  
(東大阪市・60代男性)  
毎号どの面もほとんど限らず、今月は「橋山節考」の演劇評(前号7面)に唸らされました。この作品は映画で観た事があり、その

時は、「姥捨て」は過去の貧しい時代の辛く悲しい習わしという風にしか捉えていませんでした。が、この時代が果たして今より「暗い」「悲しい」「遅れている」と言えるだろうか、貧しくても本人や家族の覚悟と準備を得た計画的・利他的な死は、病院や施設での個人的・受動的な死よりもむしろ幸福だったのではないかと捉え方には驚かされ、「本当にそうかもしれない」と考えさせられました。親孝行な娘さんとの「親子論争」がとても微笑ましく、羨ましく感じられました。きっと温かな、短いながらも鋭い演劇評が一杯つまった素敵なコラム、楽しみにしています!

温かくてさわやかな「あさやけ」楽しみ  
(弁天・40代女性)  
いつも真っ先に読むのが「あさやけ」(毎号1面)です。今月も面白かったです。庶民的な題材を扱いながら、世相をチクリと皮肉り、クスツと(時にはワハハと)笑わせ、読み終わるころ温かくて爽やかな気分になる幸福だったのではないかと捉え方には驚かされ、「本当にそうかもしれない」と考えさせられました。親孝行な娘さんとの「親子論争」がとても微笑ましく、羨ましく感じられました。きっと温かな、短いながらも鋭い演劇評が一杯つまった素敵なコラム、楽しみにしています!

**勉強会・打ち上げ・会食・お泊まり等々**

## あらゆる集まりは地元の経営開発研修センターで

会議室5(72名、45名、16名、24名、10名) 個室50(各室バス・WC・TV付) 一泊朝食付5,000円

歓迎迎会・各種宴会  
ご予約承り中!

昼食レストランも大好評!

三井住友銀行  
みなと通り

河村病院

港南中学

至境川

三先1丁目6-3(港南中学校向かい) ☎6574-5701  
http://www.keieikaihatu.co.jp mail:kenshu@keieikaihatu.co.jp

融資・国保のことなら...  
1人で悩まず

## 港民主商工会

労働保険は事務組合へ

港区夕風2-10-16 ☎6572-7867

## 出版のことなら

社史・記念誌・企業PR誌・自伝・詩歌集  
お気軽にご相談ください

地元の出版社  
**JDC出版**

TEL6581-2811  
FAX6581-2670  
港区波除6丁目5-5